

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	維管束幹細胞の多分化能の分子基盤
研究代表者	福田 裕穂（東京大学・大学院理学系研究科・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、維管束幹細胞の確立に関わる分子機構と、幹細胞から木部と篩部が分化するスイッチング機構の解明を目指したものである。応募者は、これまでの研究により木部道管幹細胞の維持と分化誘導に関わる諸因子を次々と発見し、当該分野における世界のトップランナーとして研究を牽引してきた。今回の提案はこれまで応募者が培ってきた高い研究遂行能力と独自の研究リソースを基盤としたもので、極めて独自性の高い研究である。研究戦略はよく吟味され、研究計画も周到に準備され、達成可能性は非常に高い。陸上植物の多分化能一般に関する新たな概念の創出につながる可能性が高く、大きな成果と波及効果が期待できる。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>